

カーブミラーの適切な設置・改修を

生活道路をもっと安全に

設置は半数以下

「カーブミラーをつけてほしいが、なかなかつかない」との声があがっています。5年間で市民からの要望は359件ありましたが、設置は170件にとどまります。

市は、鏡のみを見ることによる歩行者巻き込み事故の危険性を警察が指摘しているといいます。「止まれ」などがある場所に設置すると、一時停止や徐行をしなくなるため設置しないなどの基準も定めています

が、実際の事故のときにカーブミラーについての検証はされておらず、その根拠はあいまいです。日本共産党は、カーブミラーの効果

改修は5%

を客観的に判定する仕組みや、運転する人への啓発など、一体的な交通安全対策を求めました。2017年度以降、ミラーのくもりなどが確認された713件のうち改修したのは662件です。全体では約1万2千本あるうちの5%しか改修されていません。カーブミラーの日常的な点検と改修の強化を求めました。

白線の引き直しを

「道路の白線が消えたまま」という声も多く、日本共産党は補修予算を増やすよう何度も求めてきました。市は今年度から「路面標示の3か年集中対策」を始め、市道3500kmのうち500kmの幹線道路を主に対策します。その他の道路も、地域と連携して取り組むとのこと。日本共産党は「生活道路の安全も重視し、集中対策にとどまらず日常的に取り組みの継続を」と求めました。

見通しが悪い!

カーブの途中の交差点。見通しが悪いのでミラーをつけてほしい
=北本庄



交通量の多い通学路。横断歩道の停止線などが消えている。注意喚起のカラー塗装もしてほしい
=多治米町

白線が消えてる!



日本共産党は住民アンケートで地域の危険な場所をお聞きし、行政に改善を求めています。

本の大量廃棄

監修者の著書購入

随意契約

PTAの費用も?

問題続出

学校図書館のリニューアル

福山市教育委員会は、小・中学校の図書館の改装を約2億円で進めてきました。追及しました。随意契約とは、監修は児童文学評論家に委託していますが、改装にともない50万冊以上の本が捨てられた一方、この評論家の著書を「必ず購入するよう教育委員会が学校に求めたことなど大きな問題となりました。円で基準を超えています。また、一部の学校のPTA会計からも図書館改装の費用が支出されていました。日本共産党は「公費ですべき行政の事業にPTAの寄付を使うのは地方財政法に違反する」と指摘し、調査を求めました。

ちょっとおかしくない?



レベル4を公道で

自動運転の実験、安全!?

福山市は、「レベル4」の自動運転車両の実験を公道(公共の道路)で行う予定です。レベル4は、一定の条件はありますが、車に運転手が乗っていない完全自動運転です。

レベル3で接触事故

福山市は昨年、レベル3(運転席に人が乗っており緊急時には対応する)の自動運転の実験をしましたが、市中心部の駅前大通で隣の車線を走っていた一般の車に接触事故を起こしています。

事故原因は、自動運転車両の運転手の安全確認不足と、道路の白線のない場所での安全検証不足とのことです。交通量の多い公道でこのような実験をしたことは、安全を軽視したと言わざるをえません。レベル4は、さらに技術面や安全面のハードルが上がります。「実験」に市民を巻き込むべきではありません。

福山は実験場?



ご意見・ご要望をお寄せください

高木たけし

たけし通信

TEL & FAX 084-972-6830

mail takagi@f-jcp.com

みよし剛史

携帯 090-1182-3973

TEL 084-994-5013

FAX 084-994-5014

mail miyoshi@f-jcp.com

LINE



Twitter

